

## 事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	ほうなん 宝南地区																										
事業箇所	あまししっぽうちょう あまし七宝町																										
事業のあらまし	<p>本地区は、あま市の南部に位置し、二級河川<small>にっこうがわ</small>日光川水系<small>かにえがわ</small>蟹江川と小切戸川<small>おぎりどがわ</small>に挟まれた流域面積243haの排水を担う農業用排水機場を改修するものである。</p> <p>海拔ゼロメートル地帯である本地区の排水は、洪水時のみでなく常時排水も含め全量を機械排水に依存しており、3か所に設置された排水機場<small>たかい</small>（鷹居排水機場、<small>しかむら</small>四ヶ村排水機場、<small>なまずばし</small>鯨橋排水機場）により蟹江川へ強制排水している。</p> <p>しかし、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下や、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加により、地区の排水状況は著しく悪化しており、営農に支障をきたしているばかりか、民家や公共施設にも被害が及んでいる。</p> <p>このため、排水能力の低下が著しい排水機場2か所を改修し、湛水被害を未然に防止することにより、農業経営と県民生活の安定を図ることを目的として、2010年度からたん水防除事業を実施し、2020年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した既設排水機場2か所を改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。</p> <p>（計画基準雨量 341mm/3日、1/20年確率降雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	18.2億円		■工事費 17.0億円、■用補費 0.3億円、■その他 0.9億円																								
事業期間	採択年度	2010年度	着工年度	2012年度	完成年度	2020年度																					
事業内容	排水機場 2か所																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了後、2024年8月29日～8月31日に最大3日連続降雨量222.0mm（最大1時間雨量29.0mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 <span style="float:right;">（津島観測所降雨データ）</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>341.0mm</td> <td>175.0mm</td> <td>187.0mm</td> <td>191.0mm</td> <td>137.0mm</td> <td>222.0mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間降雨量）</td> <td>（53.1mm）</td> <td>（16.0mm）</td> <td>（41.0mm）</td> <td>（49.0mm）</td> <td>（23.0mm）</td> <td>（29.0mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量及び最大1時間雨量共に計画基準雨量以下であるが、事業完了以降、湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024	最大3日連続降雨量	341.0mm	175.0mm	187.0mm	191.0mm	137.0mm	222.0mm	（最大1時間降雨量）	（53.1mm）	（16.0mm）	（41.0mm）	（49.0mm）	（23.0mm）	（29.0mm）
	区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024																				
最大3日連続降雨量	341.0mm	175.0mm	187.0mm	191.0mm	137.0mm	222.0mm																					
（最大1時間降雨量）	（53.1mm）	（16.0mm）	（41.0mm）	（49.0mm）	（23.0mm）	（29.0mm）																					
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																										

② 事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】			
	項目		事前評価時 (2009)	実績 (2020)
事業期間		2010～2023 (14年間)	2010～2020 (11年間)	
事業費 (億円)	工事費	18.1	17.0	
	用地補償費	0.4	0.3	
	その他	1.3	0.9	
	合計	19.8	18.2	1.6億円減
効果の 算定要因	流域面積	243.0 ha	243.0 ha	増減なし
	農地面積	92.1 ha	81.2 ha	10.9ha 減
	宅地等面積	150.9 ha	161.8 ha	10.9ha 増
<p>【事業期間に対する評価】 事前評価時(2009)より事業期間を3年短縮したことから、計画より早い段階で効果を発現することができた。</p> <p>【事業費に対する評価】 工事費の積算精査により、事前評価時(2009)より事業費が1.6億円減で事業完了した。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】 事業評価時(2009)と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。 排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>				
③ 事業実施による環境の変化	<p>施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、河川、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。</p>			
<b>Ⅲ 対応方針(案)</b>				
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。			
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。			
同種事業に反映すべき事項	工事中においても湛水被害防止に配慮するため、更新整備を行う場合は、既設機場を活かしながら施工するなどの対応が必要であった。今後同種事業においても、湛水被害防止に配慮し、こうした対応をすることが重要である。			
<b>Ⅳ 事業評価監視委員会の意見</b>				
宝南地区の対応方針(案) [改善措置等必要なし] を了承する。				
<b>Ⅴ 対応方針</b>				
改善措置等必要なし				